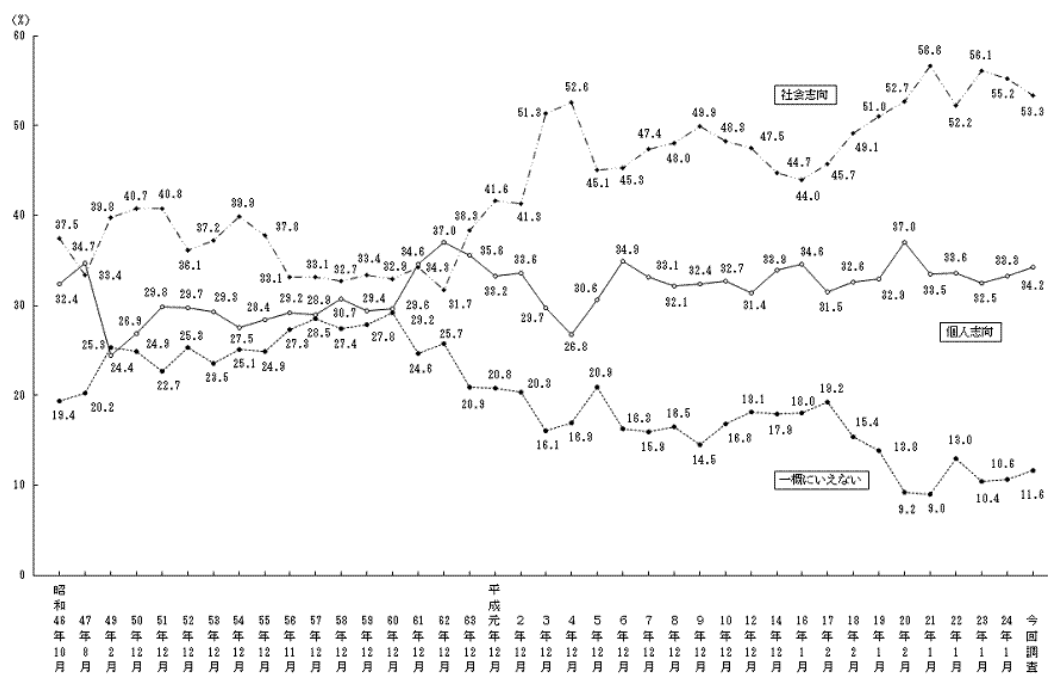


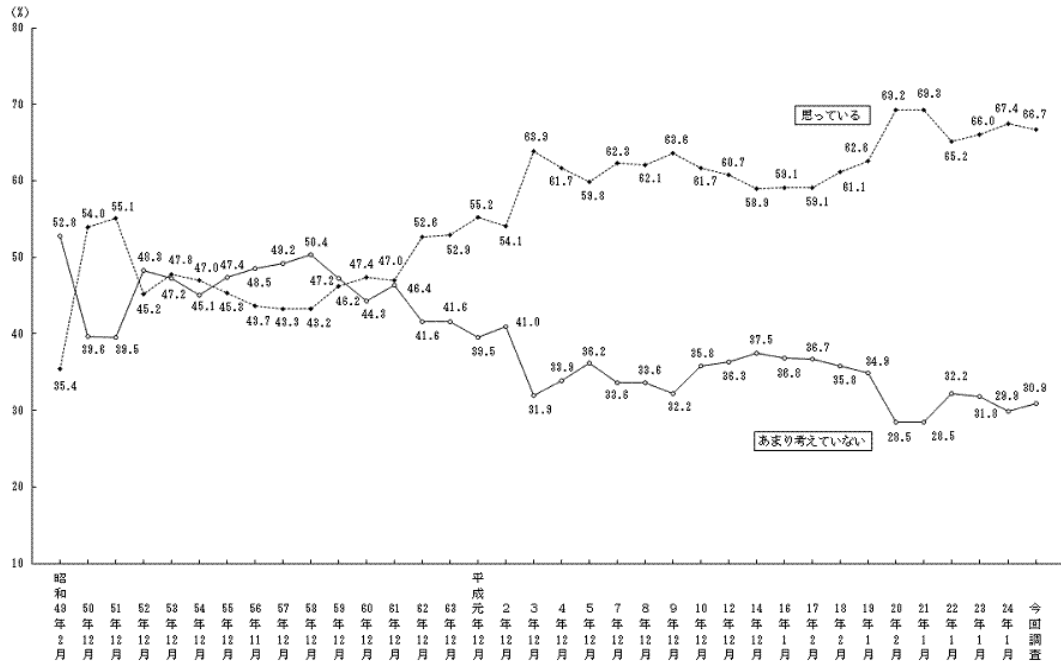
#### 第四節 大学生と社会貢献

日本人の社会貢献意識の高まりは時系列を追ってみてみると、内閣府の実施している「社会意識に関する世論調査」によると、「国や社会のことにもっと目を向けるべきだ」という意見と、「個人生活の充実をもっと重視すべきだ」という意見について、直近の調査である平成25年度調査の結果では、「国や社会のことにもっと目を向けるべきだ」と答えた者の割合が53.3%、「個人生活の充実をもっと重視すべきだ」と答えた者の割合が34.2%となった。また、社会の一員として「何か社会のために役立ちたいと思っているか」「あまりそのようなことは考えていないか」聞いた項目によると、「思っている」と答えた者の割合が66.7%、「あまり考えていない」と答えた者の割合が30.9%となった。こちらも時系列でみると、「思っている」の割合が伸びている傾向がわかる。この事象は若年層でも広がっている。

【図12】 「個人志向」「社会志向」



【図 1 3】「社会貢献意識」



図Q 4 0を見てみると、ボランティアへの興味は48.9%と約半数近くの大学生が興味があると答えている。理由としては「困っている人の手助けをしたい(63.8%)」が最も高く挙がっている一方で、「いろいろな人と出会いたい(56.9%)」や「進学、就職などで有利になるようにしたい(24.1%)」など自分の実利に繋がるような理由を挙げる大学生もいることがわかる。実際にボランティアサークルに対してヒアリングを試みたところ、「ボランティアをきっかけに、仲間が欲しいと思ってサークルに入った。」という学生の声も聞こえてきた。

社会との繋がりを求める若者にとって、社会にとって良い活動をしていることがひとつの判断基準になりつつあるのかもしれない。

【図 1 4】 Q 4 0 「ボランティアへの興味」

	n=	ある	ない	わからない
TOTAL	1,175	35.1	41.9	23.0
前期中等教育	193	22.8	35.2	42.0
高等学校	162	40.7	35.8	23.5
大学	237	48.9	35.0	16.0
社会人	515	31.8	48.3	19.8

【図 1 5】 Q 4 0 「ボランティアへの興味理由」

	n=	困っている人の手助けをしたい	いろいろな人と出会いたい	地域や社会をよりよくしたい	新しい技術や能力を身につけたり経験を積んだりしたい	自分のやりたいことを発見したい	進学、就職などで有利になるようにしたい	自由時間を有効に使いたいから	周りの人がやっているから	その他	わからない
TOTAL	413	65.4	49.6	48.4	37.3	34.6	14.8	12.6	2.7	2.2	1.7
大学	116	63.8	56.9	50.0	41.4	37.1	24.1	17.2	4.3	0.9	0.9